

小国町立病院外来診療体制

平成30年8月1日現在

診療科	午前 午後	受付	診察	診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	一診	山形大 柳谷(稜)6・20日 鈴木(佑)13・27日	伊藤副院長	伊藤副院長	渡邊 敏治	伊藤副院長
				二診	阿部院長	山形大 奥本(和)	阿部院長	阿部院長	渡邊 敏治 ※検査終了後
	午後	14:00-15:00	14:30-15:30	一診	伊藤副院長				
				二診	渡邊 敏治	伊藤副院長 (予約のみ)		渡邊 敏治	渡邊 敏治
小児科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 鈴木(康)6日 栗野(裕)13日 安孫子(雅)20日 橋本(多)27日	山形大 藤井(隆)7・14・21日 須藤(陽)28日	山形大 横山(淳)1・15日 小林(信)8・22・29日	山形大 森(福)2・16日 目黒(孝)9・23・30日	山形大 中村(和)3・24日 栗野(裕)10・17・31日
	午後	13:30-14:30	13:30-15:00 (14:30まで待合室 にお越しください)						
整形外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00			公立置賜総合 根本(信)7・21日 松木(宏)14・28日		公立置賜総合 長谷川(浩)2・16日 大楽(勝)9・23日 林(雅)30日	山形大 遠藤(誠) 3・17・31日
産婦人科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00						山形大 杉山(晶)3・24日 榊(宏)10・31日 堀川(翔)17日
外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 蘆野(光)6・20日 柴田(健)13・27日				
	午後	13:30-15:00	14:00-15:30			櫻井 文明	櫻井 文明	櫻井 文明	
眼科	午前	8:00-11:30	10:00-13:00			山形大 富樫(敬)			
耳鼻 いんこう科	午後	12:30-16:00	13:30-16:30 (16:00まで待合室 にお越しください)		山形大 寺田(小)6・13・20日 渡邊(千)27日		山形大 後藤(崇)		山形大 齊藤(史) 3・17・24・31日 杉山(元)10日

診療科	午前 午後	受付	診察	月	火	水	木	金	土	日祝
歯科 (予約制) ☎62-2513	午前	10:00-12:30	10:00-13:00	休診	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	休診
	午後	14:00-18:00	14:00-18:30		新潟大 渡辺(真)7・21日 金丸(祥)14・28日	新潟大 片桐(渉)1・29日 佐久間(英) 8・15・22日	新潟大 長谷部(大) 2・16・30日 竹内(涼)9・23日			

予防歯科や口腔外科の先生もおりますので、お口の中のこと全般的にご相談ください

※外来診療体制は変更になる場合がありますので、電話で問い合わせてください。

診療日変更等のお知らせ



内科	伊藤副院長	8月6(月)~10日(金) 休診
小児科	8月24日(金) 午後休診 (町の乳幼児健診のため)	

お盆期間中も通常どおり診療を行っています
 医科は11日(祝・土)、12日(日)が休診
 歯科は11日(祝・土)、12日(日)、13日(月)が休診

小国町立病院
<http://www.ogunibyoin.jp/>

〒999-1356 西置賜郡小国町大字あけぼの一丁目1番地
 ☎.0238(61)1111 FAX.0238(61)1115
 歯科直通 0238(62)2513

ほっと通信

小国町立病院

平成30年8月1日発行

第58号

発行：小国町立病院情報管理委員会

私たちは 地域の方々とともに歩み 医療を通して 安心のある地域づくりに貢献します

Topics

出来事・話題

大切な家族と自分のために ~乳がんと乳がん検診講演会~



朽木恵先生は積極的な乳がん検診や自己検診を呼びかけた

町民のみなさんを対象とした『乳がんと乳がん検診講演会』を7月21日(土)に健康管理センターで開催し、町民のかた約60人が参加しました。

講師である東北中央病院放射線科の朽木恵先生より『乳がんと乳がん検診』と題した講演の中で、「日本人の乳癌は増えており、若い世代の女性に多いことが問題。諸外国に比べると日本人の乳がん検診の受診率は低く、県内でも小国町の受診率は低い。」と近年の乳がんをとりまく現状や課題などを説明していただきました。そして、「乳癌を予防する確実な方法はないため、乳がん検診や自己検診による早期発見、早期治療が最善の対処法。」とのお話がありました。聴講した町民のかたからは、何歳まで検診を受けたらよいのか、乳がんは遺伝するのか、などの質問が飛び交う活発な講演会となりました。



伊藤真理診療放射線技師による撮影のデモンストレーション

また、講演の後、岐阜医療科学大学の西出裕子先生と当院の伊藤真理診療放射線技師が、聴講していただいたかたをモデルに撮影のデモンストレーションを行いながら、マンモグラフィ撮影装置を使って撮影を受ける際の注意点などを説明し、参加者はその様子に見入っていました。



口から食べる幸せを取り戻すために ~NST研修会~

はちのへファミリークリニックの高橋瑞保管理栄養士を講師にお招きし、7月27日(金)にNST(栄養サポートチーム)委員会によるKTBC研修会を行い、KTBCでの評価方法について、当院での症例を用いて具体的に解説していただきました。

KTBCとは、KTバランスチャートのことで、「口から食べる」(KT)ことを、13項目の視点からそれぞれ1~5点で評価する指標のことです。当院ではこのチャートを利用し、誤嚥をくりかえす患者さんの評価を始めていますが、患者さんの栄養管理に関わる全ての職員が理解をより深めるために研修会を企画しました。

また、講師の高橋先生にこのKTBC包括評価を展開させ、できるだけ早期に口から食べる幸せを取り戻すための支援方法を実演していただきました。



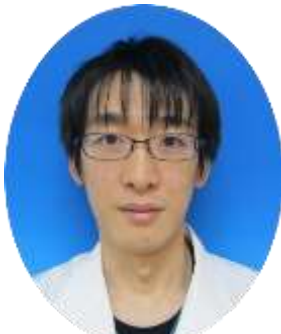
小国町職員〔診療情報管理士〕を募集しています

※詳しくは、当院ホームページまたは総務係(61-1111)まで

内科常勤の渡邊敏治医師から『ピロリ菌』に関するお話です。

「ピロリ菌」に関すること

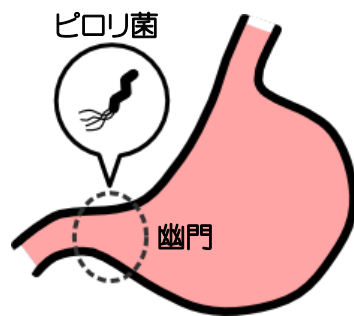
みなさんは「ピロリ菌」という細菌の名前を聞いたことがありますか？なかにはすでに除菌をされたかたもたくさんいらっしゃると思いますが、普段診療をしている中でみなさんからよく質問される内容についてお答えしたいと思います。



内科常勤医師
渡邊敏治 医師

問 1. そもそもピロリ菌って何？

答 1. ピロリ菌の正式名称は「ヘリコバクター ピロリ」と言います。胃の出口（＝幽門：英語でピロルス pylorus）に住み着くことからこの名前が付けられました。ピロリ菌は胃粘膜を薄くさせ（＝萎縮と言います）、胃潰瘍や胃癌ができやすくなります。ピロリ菌を除菌することにより潰瘍や胃癌のリスクを下げるので、ピロリ菌感染が確認された際には除菌療法をすることをお勧めします。



問 2. ピロリ菌ってどうやって感染するの？

答 2. 実はピロリ菌がどう感染するのかははっきりわかりません。ただし、年代が上がるにつれて感染率が上昇していることなどから、上下水道が十分に整備されていなかった時代の汚染された生水摂取が原因とも考えられていますが、現在では上下水道が整備されており、飲用水からの感染はまずありません。ただし、ピロリ感染している成人から子供への口移しで感染するとも言われているので、小さい子供への口移しなどには注意が必要です。

問 3. 除菌した後、また感染することはあるの？

答 3. ピロリ菌の感染は乳幼児期に成立すると言われています。胃の酸性環境が整った大人になってからの感染はないと考えられています。ただ、ピロリ菌の内服薬による除菌率は100%ではありません。内服しただけで終わらず、除菌できたかの検査までしっかり受けるようにしましょう。二次除菌までは保険で治療を受けることができます。

問 4. 除菌した後は胃カメラなどの検査はしなくていいですか？

答 4. ピロリ菌により萎縮した胃粘膜はすぐには元に戻りません。特に感染期間が長いと萎縮も進んでおり、除菌後も年一回の内視鏡検査をお勧めします。



いかがでしたか？ピロリ菌に関してわからないことがあったら外来で気軽にご相談ください。

病院では、医師を中心とした様々な専門職が1つのチームになり、医療を提供しています。医療現場の裏側を交えて、当院の職員の仕事を紹介します。



臨床検査技師
おおくほ けいこ
大久保 恵子
(平成 5 年入職)

臨床検査技師とはどういう仕事をするのですか

患者さんから採取された血液、尿や便を調べる検体検査や患者さん自身を検査する心電図、肺活量検査、聴力検査などの生理機能検査を行っています。医師が患者さんの病気を診断する時や治療方針を決める時、治療の効果を判断する時に臨床検査技師が測定した検査データが活用されています。

医療安全や感染防止に関する業務内容を教えてください

臨床検査技師としての知識を活かし、感染対策チームの一員として院内感染管理者という仕事もしています。病院内でインフルエンザやノロウイルス、その他の感染症が流行しないように手洗い、手指消毒のやり方、吐物処理方法、マスクの装着方法など職員向けに講習会を開き、全職員が感染対策に興味を持って取り組んでもらえるよう様々な工夫をしています。また、週一回病棟や外来各所を巡回し、部署ごとに感染対策が適切に行われているか確認しています。

臨床検査技師になったきっかけを教えてください

看護師の母の影響で医療の仕事に興味を持ったのがきっかけです。患者さんと直接関わる機会は少ないですが、縁の下で力持ちとして医療に関わっていく臨床検査技師の仕事が私に向いていると思いました。新潟市の専門学校を卒業後、半年ほど千葉の病院で働きましたが、親の近くにいたいと思い、出身の新潟県村上市から近い小国町立病院に就職し、現在に至ります。



院内感染管理者として定期的に職員研修で指導も行う

これからの夢や目標を教えてください

臨床検査技師として新しい知識を取り入れるために、これからは近隣の施設と交流の機会をたくさん持ちたいと思っています。また、院内感染管理者として、全ての職員が感染対策の大切さを理解し実施することで院内感染を発生させないことが目標です。そして、患者さんやそのご家族が安心して小国町立病院に来ていただけるような環境を作りたいです。

熱中症の予防は…「水分補給」と「暑さを避ける」こと！

熱中症を防ぐには水分補給と暑さを避けることが大切です。節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないようにしましょう。



熱中症を発症した主な事例

- | | |
|-----|--|
| 幼 児 | ◆ 水分摂取不足での遊び過ぎにより発症
◆ 窓を閉め切った車内に残されたことにより発症 |
| 学 生 | ◆ 屋外で運動中に発症
◆ 炎天下で競技応援中に発症 |
| 労働者 | ◆ 屋外で作業中に発症
◆ 高温多湿な屋内の作業場で作業中に発症 |
| 高齢者 | ◆ 炎天下で農作業中に発症
◆ 室内で冷房を控えたことにより発症 |

幼児や高齢者は特に注意

《幼児は…》

体温調整機能が十分発達していないことに加え、身長が低い地面からの照り返しの影響を強く受けるので、保護者は体調の変化などをよく観察し、水分補給や休息などを促しましょう。

《高齢者は…》

のどが渴かなくても水分補給！一人暮らしのかたには、ご家族やご近所などの周囲のかたが声掛けを！